

令和6年度 史料でたどる「おおさか」講演会

戦時下の大阪を読み解く

—統制、疎開、空襲—

昭和12(1937)年の日中戦争開戦により突入した「戦争の時代」は、昭和20(1945)年の敗戦で終わりを迎えます。大阪市史編纂所では、この間の大阪の歴史資料を未来につむぐべく、このたび『新修大阪市史 史料編』第21巻「近代Ⅷ 戦時編」を刊行しました。本講演では、同書に収録した日本側の文書や米軍資料のなかから、特に興味深い史料を取り上げ、わかりやすく読み解いていきます。戦時下大阪のリアルを感じてください！



「戦時市民の歌」を練習する小学校児童(大阪市史編纂所蔵)

令和6(2024)年

●日時 **9月21日(土) 14時から15時30分**(開場13時30分)

●講師 **平良 聡弘** (大阪市史料調査会調査員)

●会場 **大阪市立中央図書館 5階 大会議室**

●定員 **300名** (当日先着順・参加無料)

関連展示 開催予定
9月20日(金)より
中央図書館3階にて

手話通訳をご希望の方のみ、お申し込みが必要です。 FAX:06-6539-3335

9月7日(土)までに、お名前・ご連絡先・講座名・「手話通訳等希望」の旨を明記の上、ファックスでお申込みください。

●お問い合わせ

大阪市立中央図書館

〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2

電話 06-6539-3302

Osaka Metro 千日前線・長堀鶴見緑地線

西長堀駅7号出口すぐ



大阪市史編纂所の刊行物のご案内

『新修大阪市史 史料編』第21巻「近世Ⅷ 戦時編」 本体価格 5,500円

1937年の日中戦争開始から1945年の敗戦にかけての大阪地域について、市の全体的な趨勢と個別の具体的な動向がよくわかる史料を掲載。大阪市立図書館全24館でご覧いただけます。

販売については、大阪市史料調査会(電話 06-6539-3333)までお問い合わせください。

